

ランドスケープGIS

環境情報の可視化と 活用プロジェクト -

【鈴木雅和.ランドスケープGIS.東京 ソフトサイエンス社2003 263p.】



GIS (Geographic Information System: 地理情報システム)はツールである。ツールというものは、その具体的な使用方法や構造を理解することも大切だが、それ以上に、いかにそれを利用するかというアイデアが最も重要になる。

本書は、「GISとは何か」というGIS入門書にありがちな章立てを省略し、ほぼ全てを「GISで何ができるか」という具体例を挙げることで構成されている。

元来GISというシステムは、画面上の地図とデータを切る、貼る、重ねる、計算するなどといった小さな命令の集合体であり、それをどう組み合わせ、応用するかは利用者に委ねられているものである（また、実

際の製品もそういった形で提供される）。利用の仕方次第では紙の地図を使った方が少ない時間で結果が出る時もあり、また、逆に手作業では到底作ることのできないデータを作成することも可能である。

こういったことから、GISの利用は防災、環境、社会学、医学から考古学まで幅広い分野で活発に利用されており、各分野では日々新しい利用方法のアイデアが発明されている。

本書は主に環境、造園の分野におけるGISを用いた活動や研究を紹介し、事例を解説することによってGISの持つ機能や、その利用方法が提示されており、様々なアイデアがGISによって実現化されていく様子をカラー図で楽しむことができる。

余談になるが、私の所属していた研究室では森林の施業計画にGISを導入する一方、年輪解析をするためにGISを使って年輪のポリゴンを作成していた。これも1つのアイデアであり、それを実現化するためのツールとしてGISが威力を発揮していた一例であろう。

システムの敷居の高さや国内における基礎データの不足など、自然環境分野でのGISを取り巻く現状は、必ずしも明るく開けているとは言えない状況である。しかし、まだまだGISには人のアイデアを実現化させ、自然環境の分野を発展させるポテンシャルを多く含んだツールなのだ実感させられる一冊である。

(大阪支社自然環境研究室・森田哲朗)

東京本社で

ISO9001:2000 認証取得しました

株式会社地域環境計画東京本社は、国際標準規格である「ISO9001:2000」に基づく品質マネジメントシステムを構築し、2005年6月6日に登録いたしました。

審査機関 AJA-Registrars Ltd.
 証明書登録番号 AJA05/8881
 登録事業者 株式会社地域環境計画
 東京本社
 認証された規格 BS EN ISO9001:2000

登録日 2005年6月6日
 登録活動範囲 自然環境調査関連業務
 生態技術関連業務
 環境アセスメント関連業務
 地理情報システム関連業務

